

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

**多能工の育成で内製化を実現する 秋元 久雄 (平成建設社長・売上高 105 億円)**

1. 東大、京大、名古屋大、早稲田大…。全国の有名大学卒の若者が「大工になりたい」と、引きも切らず集まる中堅建設会社が静岡県沼津市にある。平成建設だ。20 年前の創業から一貫して「職員の正社員採用」にこだわる建設会社だ。同社に対する学生の人気は高い。2010 年卒採用の求職セミナー参加希望者は、開始から半年で前年の 2000 人を超えた。学生に人気の秘密は業界の常識を打ち破った会社の経営手法、「内製化」にある。
2. それは多能工の育成にある。平成建設では、一つの分野に突出した「作業員」ではなくマルチに対応できる「職人」を育てる。多能工の育成は、社員のモチベーション向上にもつながる。将来的に一つの建物をすべて自分の力で造る技術を身に付けることも可能だ。同社の秋元久雄社長は「作業の単純化、合理化が技術者のやりがいを奪う」と語る。
3. 職人の 3 年目までの離職率は 5% 程度だという。「会社が人の効率化を求めすぎると、自分で考えることができない社員をつくってしまう。人間は頭と体を使って働くのが自然なこと。頭を使って働く環境を提供する」。秋元社長はそう語る。会社に頼らない生き方、自分の腕を磨く仕事を与えることで社員のモチベーションは維持できるのだ。

(参考:「週刊東洋経済」2009 年 1 月 10 日号)

## 経営者のための理念・哲学

「大きな世界」と向き合う

**高樹 毅 (西郷南洲顕彰館館長)**

1. 西郷隆盛の行動哲学の 1 つに儒教、キリスト教の影響を受けた「敬天愛人<sup>けいてんあいじん</sup>」という考え方があります。「天」とは釈迦や孔子やキリストなどの神様、自然の摂理、真の知恵と徳の世界と理解すればいいでしょうか。この「大きな世界」と向き合うことを常としていたのです。
2. 西郷隆盛が最も嫌ったのは、陰謀や詐術、今で言えば粉飾決算や産地偽装の類でした。作略は「わずらい、きつと生じ事必ず敗れるもの」だから、どんな小さなことでも「正道を踏み至誠を推し一事の詐謀用うるべからず」と説いています。リーダーとして決断に迷う時、西郷隆盛の知恵を想起し生かしてほしいものです。

(参考:「日経ビジネス」: 2008 年 12 月 1 日号)

## ワンポイント経営アドバイス

イノベーションはトップの姿勢であり行動である

(P. F. ドラッカ)

1. イノベーションとは姿勢であり、行動である。特に、それはトップマネジメントの姿勢であり、行動である。イノベーションを行なう組織では、トップマネジメントの役割が違う。トップの役割は、生煮えの非現実的なアイデアを具体化することにある。しかも、優れたアイデアというものは、常に生煮えで非現実的であることを肝に銘じておかなければならない。
2. 一つの優れたアイデアを手にするには、多くのばかげたアイデアが必要である。イノベーションの早い段階では、両者を識別する手立てはない。あらゆるアイデアが、実現性のないばかげたものに見え、同時に素晴らしいものに見える。イノベーションにおけるトップの役割は、アイデアを奨励し、出てきたアイデアを現実のものにするためにはどうするかを考え、先頭に立って、それを実行することでなければならない。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2009 年 1 月 10 日号)

## 古典に学ぶ

### 大学の道

「ここに“志学”と言われたのは、いわゆる大学の道に志されたということであって、孔子は 15 歳にして、すでに大学の道に志されたのであります。ではそのいわゆる大学の道とは、わが身を修めることを中心としつつ、ついに天下国家をも治めるに至る人間の歩みについていうのです」

(参考: 森信三「修身教授録抄」: 致知出版社)